

内灘町都市計画マスタープラン 概要版



平成27年11月



内灘町
Uchinada Machi

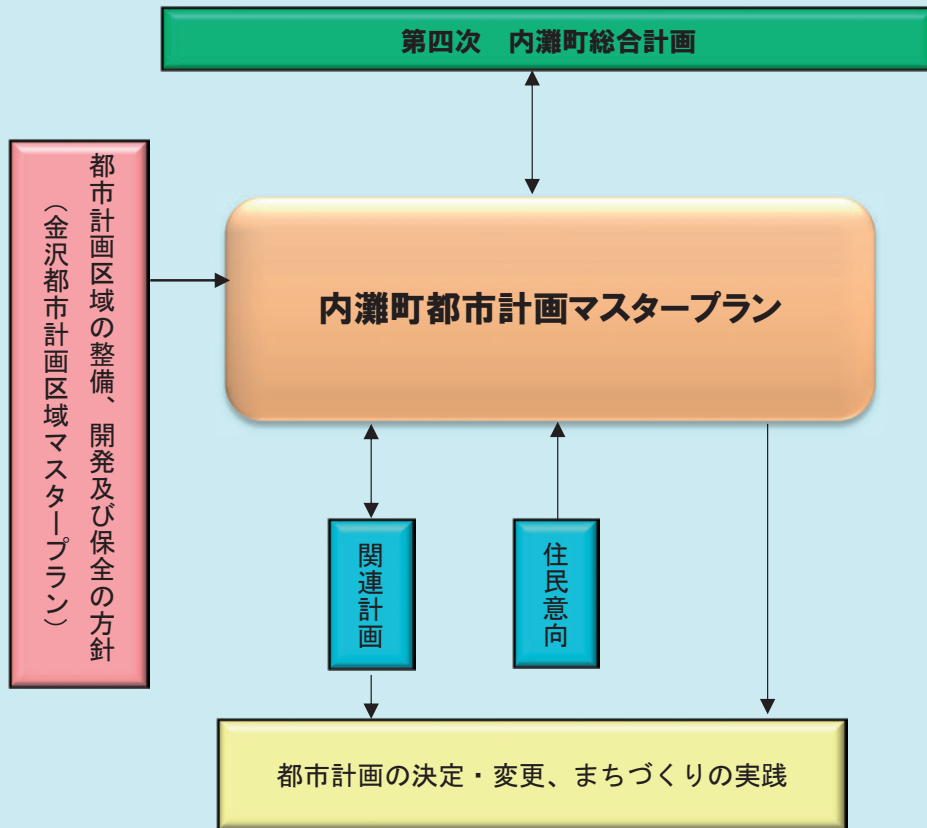
内灘町都市計画マスタープランとは

内灘町都市計画マスタープランは、都市計画法に基づいて内灘町が定める「町の都市計画に関する基本的な方針」です。

内灘町の総合的な指針である「第四次内灘町総合計画」及び県が定める金沢都市計画区域における「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）」を踏まえ、本都市計画マスタープランの策定年度とする平成27年から10年後の平成37年とする。

計画の構成は、町全体における総合的な整備方針である「全体構想」と、地域別でめざすべき市街地像、整備方針などを示す個別方針の「地域別構想」に分けられます。

【内灘町都市計画マスタープランの位置づけ】



都市の将来像

【都市づくりの基本理念】

1 つながりを大切にした活気あるまち

- ・自助・共助・公助の考えに基づく、助け合う地域社会の充実
- ・思いやりに満ちた心豊かなひとを育む環境づくり
- ・人、もの、情報の連携と交流促進による地域経済の活性化

2 緑と水に抱かれた便利で安全・安心のまち

- ・安全で快適に暮らし続けられる社会基盤の充実
- ・環境にやさしく自然と人とが共生する環境整備の推進
- ・自然と共生した潤いある生活による心と体の健康づくり

3 住民と行政がともに考え、育てるまち

- ・まちづくりの主役である住民による自主的・自立的なまちづくり
- ・住民と行政が情報を共有し、協働による将来像の実現
- ・近隣市町間の広域連携による地域のさらなる魅力向上

【まちづくりのテーマ】

人がいきいき まちが元気
個性が輝く魅力あるまち うちなだ

～豊かな水辺に包まれた快適住環境のまちづくり～

【まちづくりの基本目標】

（1）便利で住みよい快適居住都市づくり

便利で快適な暮らしを支える交通ネットワークの強化をはじめ、公共交通の利便性向上や身近な道路、公園の整備充実、上下水道等の既存施設の適正な維持管理等により、都市基盤の整った都市づくりを推進します。

（2）誰もが安全で安心できる都市づくり

水害、地震等の自然災害や都市災害等に対応できる防災性の高い都市づくり、道路や公共施設のバリアフリー化等、誰もが安全で安心して住み続けられる都市づくりを推進します。また、犯罪のない地域社会を目指し、地域住民による自主的な防犯活動の充実を図ります。

（3）豊かな自然を活かしたやすらぎのある都市づくり

河北潟、砂丘、農地等の自然環境の保全を図るとともに、自然と都市空間が調和したやすらぎのある都市づくりを推進します。また、大気、水質等の保全・美化に努め、身近な生活環境が良好に保たれた美しく、地球温暖化や省エネルギー等にも配慮した持続可能な都市づくりを推進します。

（4）産業の振興、活発な交流による賑わいと活力のある都市づくり

農業や商業の活性化、新産業の創出を支援する土地利用の推進や、生産空間と生活空間が調和した活力ある都市づくりを推進します。また、交流基盤の整備充実や新たな賑わい空間の創出等により、多くの人々が集散し、活発な交流と活力にあふれる都市づくりを推進します。

（5）住民との協働による都市づくり

目指す都市の将来像の実現に向け、町民、行政がそれぞれの役割分担のもと、協働しながらまちづくりを推進します。

【将来都市構造】

まちづくりの理念と目標に基づき、目標とすべき将来の骨格的な都市構造の考え方を「5つのゾーン」・「5つの拠点」・「3つの軸」で示します。

内灘町 将来都市構造図



凡例

- 市街地ゾーン
- 観光・レクリエーションゾーン
- 農地ゾーン
- 自然環境ゾーン
- 親水空間ゾーン
- 都市拠点
- 交通拠点
- 商業拠点
- 高度医療拠点
- 観光・レクリエーション拠点
- 都市連携軸
- 都市中心軸
- 地域連携軸

【5つのゾーン】

- 市街地ゾーン**： 現在及び将来において市街地を形成するゾーンであり、本町の居住、商業、交通等の各機能の集積を図るとともに、良好な住宅地の形成を図ります。
- 観光・レクリエーションゾーン**： 水に囲まれた本町の特徴を活かした観光レクリエーションゾーンの形成を図ります。
- 農地ゾーン**： 農地の適切な維持・保全に努めるとともに、農地の生産性を高めるために、農業生産基盤の整備充実を図ります。
- 自然環境ゾーン**： 貴重な緑地帯として、適切な管理と将来にわたって保全を図ります。
- 親水空間ゾーン**： 水とふれあえる空間づくり等により、親水性の高い水辺空間の形成を図ります。

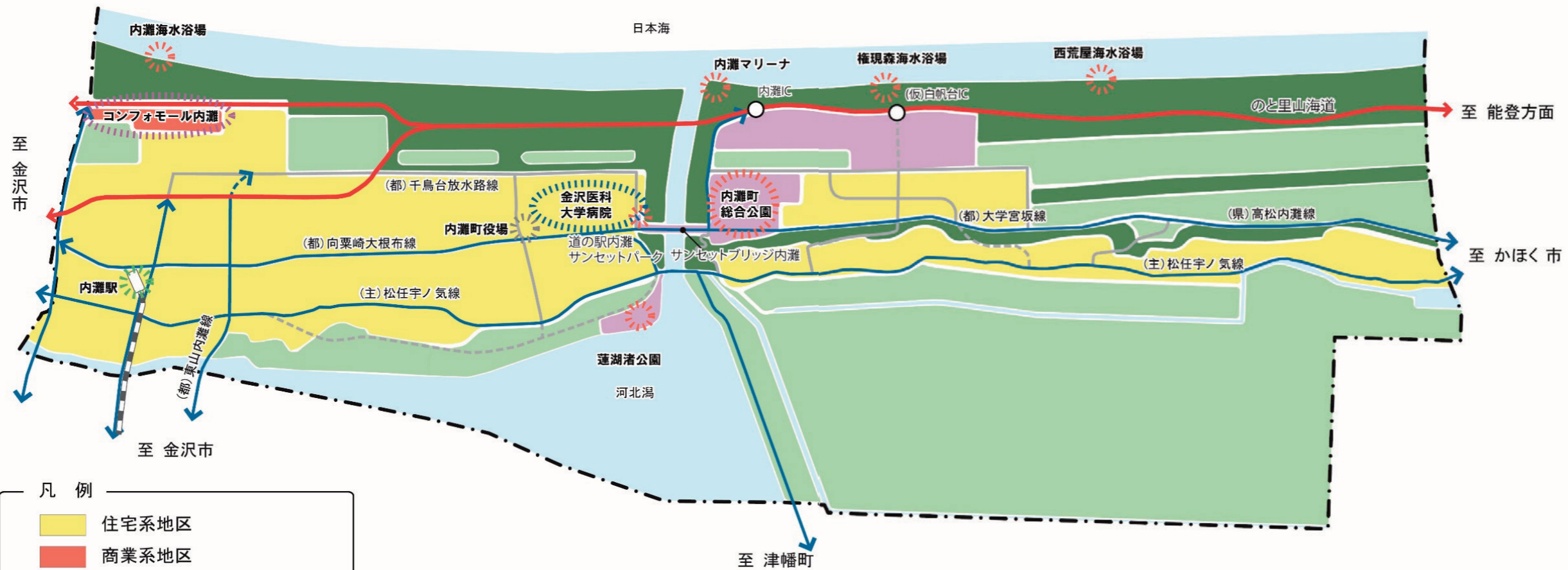
【5つの拠点】

- 都市拠点**： 公共サービスや交通など、あらゆるネットワークの中心となる内灘町役場周辺地区を位置づけます。
- 高度医療拠点**： 金沢医科大学周辺地区を位置づけ、保健・医療・福祉機能の充実強化を図ります。
- 交通拠点**： 内灘駅周辺を位置づけ、多くの人々が集散し、賑わいと交流が育まれる環境整備を図ります。
- 観光・レクリエーション拠点**： 多種多様なレクリエーションニーズに対応した施設の整備充実を図ります。
- 商業拠点**： 千鳥台地区の複合商業施設を位置づけ、賑わいと活気あふれる拠点形成を図ります。

【3つの軸】

- 都市連携軸**： のと里山海道を都市間の広域的な連携・交流を担う軸として都市連携軸とします。
- 都市中心軸**： 都市拠点を中心に各拠点等を結び、本町の骨格となる軸を都市中心軸とします。
- 地域連携軸**： 都市連携軸や都市中心軸と連絡し、周辺市町とのアクセスや交流を図る道路を地域連携軸とします。

内灘町 土地利用方針図



- 凡例
- 住宅系地区
 - 商業系地区
 - 観光・レクリエーション地区
 - 農業振興地区
 - 自然環境地区
 - 都市拠点
 - 交通拠点
 - 商業拠点
 - 高度医療拠点
 - 観光・レクリエーション拠点
 - 主要幹線道路
 - 幹線道路
 - 補助幹線道路

1 土地利用の方針

(1) 住宅系地区

南部地域の住宅地は、すでに良好な居住環境を有しており、引き続き低層住居を中心とした土地利用を図ります。一方、北部地域の白帆台地区等は、周辺の自然環境と調和した魅力ある良好な街並み形成を推進します。

(2) 商業系地区

本町の新商業地となるよう更なる立地誘導を図り、内灘海岸を含めた新たな魅力づくりとなる賑わいのある商業地の形成を推進します。

(3) 観光・レクリエーション地区

本町の水と緑豊かな自然環境を活用した観光・レクリエーション拠点の整備、ネットワークの強化と観光メニューの多様化、憩いと心身のリフレッシュ空間の創出を図ります。

(4) 農業振興地区

優良農地の整備・保全を進めながら農業生産基盤の強化を図るとともに、農地が持つ多面的な機能を活かしつつ田園環境の保全に努めます。

(5) 自然環境地区

豊かな自然環境の形成・保全、人々に憩いとやすらぎを与えるうるおい空間として、親水性の高い水辺環境の創出を推進します。

地域別構想

南部地域の将来像

【1 まちづくりのテーマと基本目標】

■まちづくりのテーマ

都市と自然が調和し、
快適でいつまでも住み続けたい地域づくり

■まちづくりの基本目標

- まちの中心部としての地域づくり
⇒都市機能の集積強化、景観形成による拠点性の向上
- 安心して、快適に暮らせる質の高い居住環境の創造
⇒良好な住環境の保全・形成、防災性の向上
- 水と緑、花に彩られ、うるおいとやすらぎに満ちた環境づくり
⇒身近な自然を保全・活用したうるおいのある生活環境づくり

【2 まちづくりの基本方針】

1) 土地利用の方針

◆住宅系地区

千鳥台地区に形成されている低層住宅地のゆとりある良好な住環境の保全、良好な沿道型住宅地の形成、住宅密集地区の住環境並びに防災機能の向上、住宅地と工場等とが混在している地区の安全で良好な住環境の創出を図ります。

◆商業系地区

千鳥台の商業地区は、内灘海岸の魅力づくりもあわせ、新しい商業地にふさわしい賑いと魅力ある商業環境の形成を図り、既存商業地は、近隣住民の日常の利便性に寄与する商業地として、維持・充実を図ります。

2) 都市施設の整備方針

◆道路・交通施設整備の方針

のと里山海道と金沢外環状道路海側幹線への接続、安全・快適な道路交通環境の創出、冬期間の道路交通環境の向上及び除雪体制の強化、内灘駅において、鉄道と民間路線バスの交通結節としての機能強化を図り、玄関口としての利便性向上を図ります。

◆公園・緑地整備の方針

学園緑地及び林帯遊歩道などの既存公園の適正な維持管理を図り、公園等の緑を有機的に結ぶ緑のネットワークを形成し、うるおいのある空間の創出、市街地における緑化の推進、まちなかの緑の適正な維持管理を図ります。

3) 自然環境保全並びに都市環境形成の方針

◆自然環境保全の方針

市街地背後の斜面樹林や海浜の植生の保護・育成、竹垣の整備等により内灘砂丘の再生を図り、「河北潟水質浄化連絡協議会」等の活動とも連携し、日本海、河北潟、河川の水質浄化に努めるとともに、親水性を活かしたうるおいある空間づくりを目指します。

◆都市環境形成の方針

ごみの発生抑制、資源のリサイクル化推進、環境美化活動の推進、衛生的で快適な生活環境の形成、新エネルギーの積極的な導入、CO₂排出量の削減を図ります。

4) 景観形成の方針

日本海、河北潟、白山眺望景観の保全・育成、サンセットブリッジ内灘の良好な夜間景観を維持・形成し、観光振興にも寄与する魅力ある景観づくりを推進します。

5) 都市防災・防犯まちづくりの方針

指定避難所の耐震・耐火性の向上や施設・整備の充実、避難場所や防災活動拠点としても機能する公園・緑地の維持・管理の徹底、住宅密集地区の防災性向上、土砂災害警戒区域の安全性確保と住民への周知徹底のほか、安全パトロールの実施等による犯罪の発生しにくい環境づくりを図ります。

内灘町 南部地域 まちづくり基本方針図



凡例

 住宅系地区	 観光・レクリエーション地区	 主要幹線道路	 公園・緑地等
 商業系地区	 農業振興地区	 幹線道路	 その他施設
 自然環境地区		 補助幹線道路	
		 鉄道	

- 南部地域全体に関わる方針**
- ・ 除雪体制の充実及び強化
 - ・ 住民参加による環境美化活動の推進
 - ・ 各指定避難所の耐震・耐火性の向上や整備の充実
 - ・ 犯罪の発生しにくい環境づくり
 - ・ まちの新たな魅力と賑わいの創出

北部地域の将来像

【1 まちづくりのテーマと基本目標】

■まちづくりのテーマ

水と緑豊かな自然環境のなかで、
新しい魅力と賑わいあふれる地域づくり

■まちづくりの基本目標

- **新たな交流・賑わいを創出し、活気あふれる地域づくり**
⇒ 北部地域の活性化に寄与する新たな賑わいづくり
- **豊かな自然と共生する快適・安全な居住環境の創出**
⇒ 自然と共生した住みよい生活環境整備、防災性の向上
- **日本海、河北潟等の優れた自然環境の保全**
⇒ 水辺、農地、樹林地等の自然環境の保全

【2 まちづくりの基本方針】

1) 土地利用の方針

◆住宅系地区

白帆台地区において、質の高い住宅地が形成できるよう商業施設の誘導を図ります。また、既存集落等において、生活道路の改良やオープンスペースの確保等により、住環境並びに防災機能の向上を図り、生活利便性の向上や地域活力の維持を図るため、地区計画制度等の導入を検討します。

2) 都市施設の整備方針

◆道路・交通施設整備の方針

(仮称)白帆台インターチェンジ及びアクセス道路の整備、(主)松任宇ノ気線の歩道整備、消雪装置の整備、安全な道路環境の整備を図り、南部地域との連携強化に資する公共交通網の確立を図ります。

◆公園・緑地整備の方針

内灘町総合公園の拡充整備と宿泊施設機能の強化、既存公園の適正な維持管理、一時避難場所として維持・管理の徹底、海岸部の樹林地と総合公園等による緑のネットワークの形成を図ります。

3) 自然環境保全並びに都市環境形成の方針

◆自然環境保全の方針

日本海、河北潟、河北潟放水路等の自然豊かな水辺環境の維持・創出、広大な北部農地の保全、海岸浸食防止対策事業の推進による砂浜の保全を図ります。

◆都市環境形成の方針

ごみの発生抑制、資源のリサイクル化の推進、衛生的で快適な生活環境の形成、住民参加による環境美化活動の推進、太陽光発電などの新エネルギーの積極的な導入を図ります。

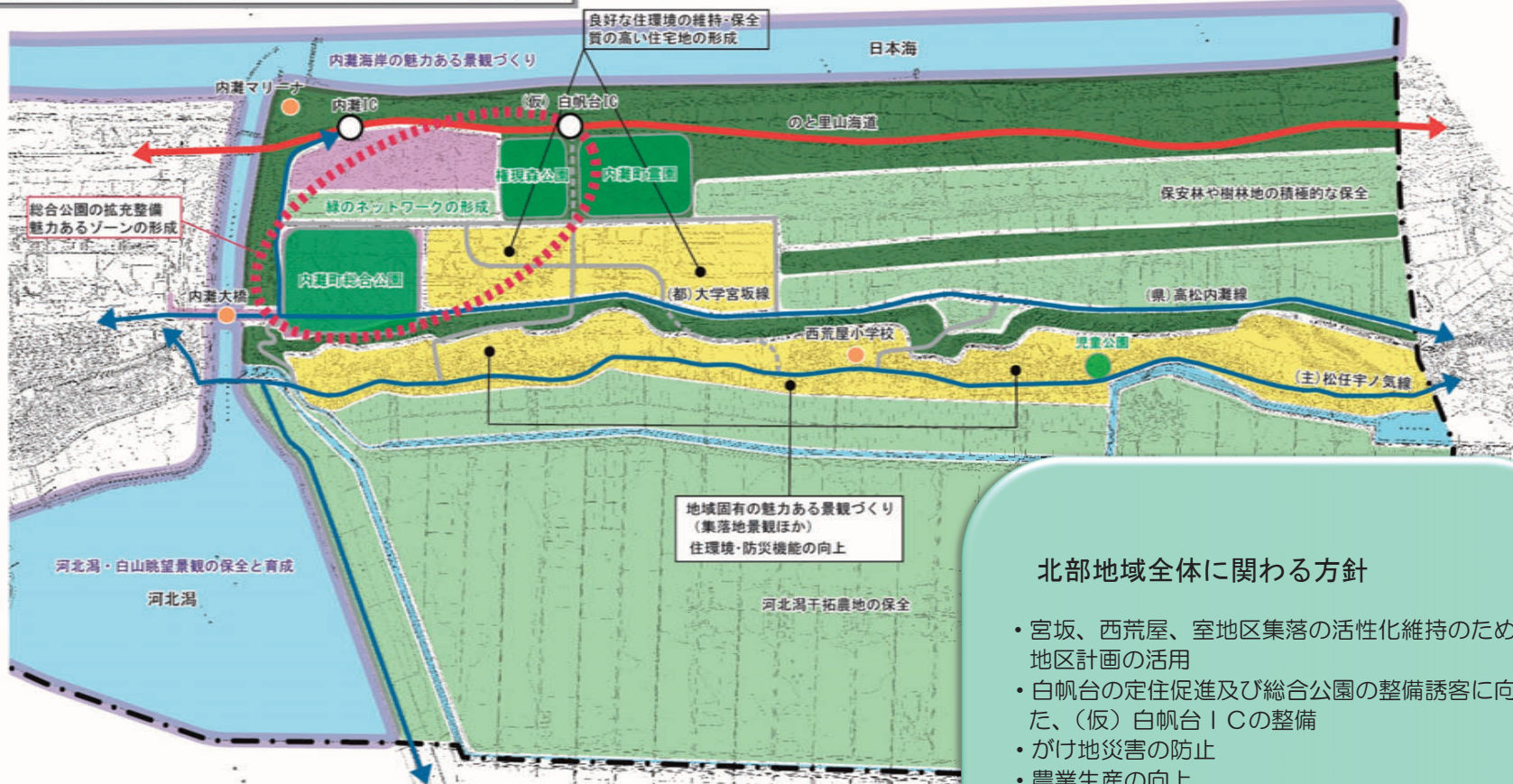
4) 景観形成の方針

内灘町総合公園の魅力ある公園づくり、日本海や河北潟、白山眺望景観の保全を図り、河北潟干拓地の広大な田園景観や白帆台地区の良好な住宅地景観、道路沿いの集落地景観、海岸部の樹林景観などの地域固有の魅力ある景観づくりの推進、本町の歴史を物語る着弾地観測所、小濱神社社趾等の歴史文化資源を保全するとともに、修景環境を推進し、歴史的雰囲気漂う景観形成を図ります。

5) 都市防災・防犯まちづくりの方針

指定避難所の耐震・耐火性の向上や施設・設備の充実、避難所としても機能する公園・緑地の維持・管理の徹底、住宅密集地区の防災性向上、土砂災害警戒区域の安全確保と住民への周知徹底を図ります。

内灘町 北部地域 まちづくり基本方針図



凡例

住宅系地区	観光・レクリエーション地区	主要幹線道路	公園・緑地等
農業振興地区	自然環境地区	幹線道路	その他施設
		補助幹線道路	
		鉄道	

北部地域全体に関わる方針

- 宮坂、西荒屋、室地区集落の活性化維持のため、地区計画の活用
- 白帆台の定住促進及び総合公園の整備誘客に向けた、(仮)白帆台ICの整備
- がけ地災害の防止
- 農業生産の向上
- 都市の骨格を形成するため、幹8号宮坂西荒屋線及び県道高松内灘線の再整備
- 利便性の高い公共交通空間の確立
- 住民参加による環境美化活動の推進
- 各指定避難所の耐震・耐火性の向上や整備の充実
- 犯罪の発生しにくい環境づくり
- まちの農業基盤の強化と雇用を創出する土地利用